

「県立小出特別支援学校川西分校大会」が開催されました。

9月26日(土)に当校を会場に、十日町掃除に学ぶ会「県立小出特別支援学校川西分校大会」が開催されました。

当校はPTA活動として親子・職員が参加しました。また株式会社村山土建の皆様、掃除に学ぶ会の皆様が十日町市内だけでなく新潟、寺泊からも参加していただき、約30名で行われました。

当日の様子をご紹介します。

<開会式>



会が始まり、今回の代表世話人である村山廣祐様(株式会社村山土建社長)から、ご挨拶いただきました。

『「掃除を学ぶ会」ではなく、「掃除に学ぶ会」です。トイレ清掃を通して「心を磨く」、「謙虚な人になれる」、「気づく人になれる」、「感動心を育む」、「感謝の心が芽生える」ことにつなげていただきたい、今回の活動がそのようなところに繋がるようになってもらえればと思う。』とご挨拶いただきました。

皆さんでラジオ体操。体をしっかり動かして準備体操をしました。

清掃とはいえ怪我の無いように、また体がしっかりと動くようにと体を動かしました。

後々気が付きましたが、やっておいて良かったと思えました。



<使用した用具です>



自然に優しい洗剤や、専用のスポンジなど、色々な道具があり、かなり本格的にやるんだなあとはびっくりしました。初めて参加する者にとっては、「何が始まるんだろう？」と、期待と不安が入りまじった感覚になりました。今回ゴム手袋は使わず、素手で行いました。開会式前に専用の薬剤(プロテクト X 1)で手をコーティングし準備しました。

<いよいよ開始>



今回は3班に分かれて行いました。各班でリーダー・サブリーダーの確認、各班参加者の自己紹介を行いました。作業手順、用具の使い方を丁寧に説明していただき、いよいよ清掃の開始です。

一人に一つの割り当てで、便器や洗面台の清掃をしました。素手で便器を清掃する。道具を使うとはいえ、さすがに抵抗が…。しかしやってみると、汚れが固まっていた、ザラザラした感覚が分かりました。汚れに対して、正面で向かい合い、こすっていくとほろりとザラザラ感が無くなっていくのが分かりました。「おお～落ちてるよ～」と、うれしそうな生徒の声が聞こえてきました。やった分だけの成果を感じたのか、皆さん汚れ落としに没頭。2時間の清掃時間があっという間でした。



<片付けの様子>

みんなで後片付けです。使った用具を確認しながら、一つ一つ丁寧にすすいでいきます。

写真の一番奥のバケツが荒すすぎ、手前に行くにしたがって、仕上げすすぎになっていきました。

荒すすぎが一番汚れ易く、度々バケツの水を交換をしていきました。新しく入れ替えた水は、仕上げのすすぎに使い、順次バケツを送っていきます。

きれいな水は常に仕上げで使用していき、使った水をリサイクルしていくということで、節水を考えているやり方だと感じました。



<班ごとの反省会>



終わった後には、各班ごとの振り返りをしました。

「始めの頃の汚れがきれいに落ちて、汚れと共に気持ちもすっきりしました。」
「きれいにする過程で、リーダーから“きれいになったね”と声を掛けられたのがうれしかった」

お互いの顔が見えるところで、それぞれの感想を話していただきました。皆さん笑顔で話されていたのが印象的でした。

<閉会式>

最後に閉会式を行いました。

参加した方の中から、代表者が感想発表をしました。今回参加してくれた卒業生も感想を発表しました。それぞれの思いや感じたことが聞けました。

約2時間の活動でしたが、本当にあっという間の出来事で、こんなに集中して取り組めたことにみんなびっくりでした。

参加した人達が皆さん笑顔で、「やって良かった」と言われた有意義な会でした。

